

令和4年度 学校評価（児童アンケート） 11月実施 528人実施

（各評価は％表示）

	質問項目・評価	4	3	2	1
1	学校に行くのが楽しいですか。	53%	32%	11%	5%
2	勉強は、好きですか。	32%	34%	23%	11%
3	自分から進んで問題や課題を解こうとしていますか。	41%	39%	15%	5%
4	先生の話や友だちの発表をしっかりと聞いていますか。	53%	39%	6%	2%
5	ペアやグループでの話し合い活動に参加していますか。	58%	31%	8%	3%
6	自分の意見や考えを進んで書いたり発表したりしていますか。	30%	38%	23%	8%
7	授業が始まるまでに学習用具を準備できていますか。	53%	33%	9%	5%
8	チャイムとともに着席して、「もくそう」をきちんとやっていますか。	40%	39%	14%	6%
9	授業中のノートは、「めあて」から「まとめ」「ふりかえり」までをきちんと書くことができますか。	64%	26%	7%	3%
10	ロッカーの整理整頓はできていますか。	58%	25%	12%	5%
11	家庭学習は毎日やっていますか。	56%	24%	14%	6%
12	図書館の本を借りて進んで読書していますか。	58%	26%	10%	6%
13	学校や学級のきまりをきちんと守っていますか。	46%	42%	9%	2%
14	友だちを「さん」づけでよんでいますか。	14%	20%	23%	43%
15	相手のことを考え、友だちと仲良く過ごしていますか。	63%	30%	5%	2%
16	自分には良いところがあると思いますか。	50%	28%	14%	8%
17	先生方はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか。	56%	33%	6%	5%
18	学校をきれいにするために、そうじなどをがんばっていますか。	68%	26%	5%	1%
19	早寝・早起き・朝ご飯など、きまりよい生活リズムができていますか。	38%	40%	16%	6%
20	なわとびや走るなど運動にとりくんでいますか。	53%	24%	15%	8%
21	徒歩登校していますか。	64%	21%	9%	6%
22	おうちの人や地域の人にも進んであいさつをしていますか。	42%	36%	17%	5%
23	将来の夢ややってみたい仕事がありますか。	66%	15%	11%	7%

〈結果〉

- ・（学習面1～12項目）で見ると、4、5、7、9項目で肯定的な考えが85％を上回っている。その中で、4「先生の話や友だちの発表をしっかりと聞いていますか。」は90％以上である。
- ・70％に達していない項目は、2「勉強は、好きですか。」と6「自分の意見や考えを進んで書いたり発表したりしていますか。」となっている。
- ・（生活面13～21項目）では、13、15、17、18、21項目で肯定的な考えが85％を上回っている。その中で、90％を越えている項目は、15「相手のことを考え、友だちと仲良く過ごしていますか。」と18「学校をきれいにするために、そうじなどをがんばっていますか。」である。
- ・最も低い数値は、14項目の「友だちを（さん）づけでよんでいますか。」で去年に引き続き34％だった。
- ・23項目中80％以上の数値を出した項目は、昨年度は19項目あったが、今年度は14項目に減少している。

〈考察〉

- ・学習面の先生や友だちの話の聞いたり、グループ活動に参加することは85％以上の児童がプラス評価をしている。しかし、自分の意見を進んで書いたり、発表することに関しては、69％留まり苦手意識があることが伺える。
- ・学習規律面の8項目、「チャイム着席ともくそう」が前年比より3％減少し79％にとどまった。「小中一貫教育の共通実践」や「松島っ子学習のルール」の8か条など継続的な指導が必要である。
- ・生活面では、14項目の「友だちを（さん）づけでよんでいますか。」が最も低く、4年間の経年比較をしても、30～40％と数値が上昇していないことが分かる。
- ・21項目の「徒歩登校していますか。」では、15％の児童が送迎で登校している様子がうかがえる。安全面や健康面から「てくてく登校の奨励」を保護者に周知徹底をはかる必要がある。

〈改善策〉

- ・70％代に留まっている「チャイムとともに着席して、（もくそう）をきちんとやっていますか」の項目を85％以上にするためには、生徒指導と学力向上推進メンバーで実践の共通確認を行う。モデルクラスのビデオ撮りをし視聴する。各教室への掲示物作成。（松島校区の重点実践事項：2分前入室、1分前着席、ベル黙想になっている。）
- ・40％代に留まっている「友だちを（さん）づけでよんでいますか。」の項目を60％以上にするためには、児童会のプロジェクトとして、児童自ら考え実践する方法を考える。